

## 同窓会同期会便り 14期(1963年3月卒)のページによろこそ!!!

\*同期会・クラス会など同期の仲間との集まり、地元でのご活躍の状況等の情報をお寄せください。

14期の皆さんからの寄稿をお待ちしています・

\*寄稿に当たっては、卒業期(或いは卒業年月)、氏名(含む旧姓)を必ずご記入ください。

寄稿の宛先は：市川二中同総会事務局 住所：〒272-0825 市川市須和田2-34-1

E-mail：[2chu@kde.biglobe.ne.jp](mailto:2chu@kde.biglobe.ne.jp)

### \*会報5号(2002年10月)から

14期・同期会  
14期6組 印出(網取) 博美  
6月9日、同窓会総会終了後に14期生は、駅前の白木屋にて卒業以来初めて同期会を開きました。後から駆け付けた人も含めて16名が参加、39年ぶりの再会を喜びました。

近況報告では、子供の結婚、孫の誕生等々、年齢を感じさせることが多かったのですが、皆さん中学時代の面影はバッチリ、誰だかすぐ解るのは不思議です。W杯・日口戦の日にも拘らず、不明の人の情報が出たりして大いに盛り上がり、またこの様な機会を持つという事になりました。

それで、14期生の方で集まりに参加したい方、誰かの情報をお持ちの方は、私の方にご連絡下さい。電話・FAX共に047・334・1188です。

10組の方だけはクラス会を開いているのですが、他の組もできる様に、それまで同期会として集まっていたのですが、他の組もできると行ってみたいと思います。久しぶりの同期の方は、皆、輝いていました。交流の輪を益々広げて行きたいです。



### \*会報6号(2003年10月)から

十四期同期会  
14期6組 印出(網取) 博美  
六月八日、総会終了後、十四期卒業生は市川駅前の白木屋に場所を移し、昨年に引き続き同期会を開きました。メンバーは昨年と殆ど同じなので、和気藹藹(あいあい)。年間の息災を喜び、また同期の栗生氏の日本芸術院賞授賞を祝って皆で乾杯しました。授賞式後、皇居での天皇、皇后両陛下、皇太子御夫妻との会食時の話などで盛り上がりました。また、同期の方の姉上も参加して、なつかしい話、皆で栗生氏の作品を見に行こうツアーを計画しようとの話が出たりして楽しい一時でした。在学当時、二中の番長だったK君の話、須和田交番焼き討ち事件があり、M君、S君のご両人は運悪くそこに行ってしまったために補導されてしまった話、当時、知り得なかつた事件の真相が明らかになって、一同大爆笑で、四十年近い空

白の期間も忘れ、当時の皆に戻ったかのようでした。

幹事としては、先生方もご参加頂く同期会を開催したいと思っておりますが、総会の出欠の葉書でさえ、投函されない状況では、実現の可能性は低いと思います。

二、三人の集まりでもありましたら、是非、情報をお寄せ頂くとともに有り難いです。住所の情報もどうぞご提供ください。

旧友との語らいが、次の日のエネルギーとなる事を確信しています。今回は幹事が酔って集合写真を撮影できず、残念。来年の再会を約して散会しました。



### \*会報12号(2009年3月)から

## January



来初めて会った人が多く、「誰だっけ？」その内思い出しては昔の話や、現在の事を熱気で冬を忘れる程楽し

卒業以来の再会になりました。生を考える良い機会になりました。

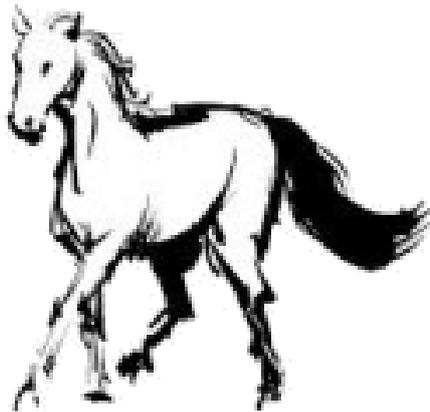
平成20年1月27日の午後、市川グランドホテルにて14期同期会を卒業以来初めて開催しました。

### 14期 同期会開催

14期 印出 博美



しい時間を共有しました。改めて先生方にご出席のお礼を申し上げると共に、益々のご健勝をお祈り申し上げたいと思っております。



### \*会報14号(2011年3月)から



### 14期・第2回同期会開催

14期 澤田 佳秋

平成23年1月23日(日)、市川グランドホテル7階「桐の間」にて、3年ぶり2回目の14期同期会を開催しました。

ますますお元気な伊藤喜之先生と、教え子より若々しい高橋(川和田)千鶴子先生を囲み、集まった37名は一瞬のうちに47年前にタイムスリップ。

正面スクリーンには、卒業アルバムより1人ずつ切り出された顔

写真のスライドショー。BGMは在学当時のヒットソング、壁際のパネルには昭和36年当時の二周辺の特大住宅地図…

往時に浸りきる趣向の中、全員  
の近況報告で賑やかに和やかに会  
は進み、腕を組んでの合唱タイム  
に突入。「上を向いて歩こう」他3  
曲を歌い上げたあと、輪になって  
校歌斉唱。最後に「今日の日はさ  
ようなら」を歌ってお開きに。  
あっとい間時間の3時間でした。



**\*会報17号(2014年3月)から**

**14期・平等院と伊勢神宮の旅** 14期 印出 博美



”メールDe同期会“(14期の連絡網)で、「お伊勢参りがしたい」との意見が有って、「せんぐう館」を設計した栗生さんを案内役有志8名で、平成25年5月20・21日と二度目の修学旅行? に行きました。

栗生さんの提案で、彼が設計した平等院の「鳳翔館ミュージアム」にも行こうということで、東海道新幹線「のぞみ」で一路京都へ。現地集合組と合流し、レンタカーで宇治に向かいました。あいにく平等院の大修理で、鳳凰堂は工事

のシートに覆われていました。しかし、平等院最勝院のご住職のお計らいを頂き、工事中で瓦を外した状態のお堂内を拝観させて頂いて、はるか1000年にも及ぶ日本の宮大工の優れた技術をも垣間見ることができました。鳳翔館では、飛天の展示に圧倒され、先人の美意識の素晴らしさを目を見張りました。また周囲の景観に溶け込んで、決して目立たないミュージアムの設計に感銘を受け、室町時代の建造という最勝院にて茶菓の接待を頂き、一同感激しました。さて、伊勢まで高速道路をドライブです。平日なので渋滞もなく、途中一度の休憩を入れて、午後4時過ぎ無事に当日の宿「神宮会館」に到着しました。夕食後一室に集合し、しばし談笑。

翌朝は午前6時30分から宿の職員案内で、内宮の参拝をしました。約1時間半、早朝の清々しい内宮を歩いたので、森林浴効果抜群でした。

チェックアウトして、次は栗生さんの案内で外宮の参拝です。鬱蒼とした森の中の大きな岩にも御神体があり、囲いの前には御幣が飾られて神々の存在を感じさせてくれます。「せんぐう館」は文字通り遷宮の歴史や、儀式を解かりやすく展示して有り、外宮正殿の4分の1部分の原寸大の展示は圧巻です。遷宮の儀式の模型も10月に行われたそのままを再現して有り、テレビで見ると映像より臨場感が有ります。設計者と一緒のためVIP待遇して頂き、感謝!

ページの関係で書ききれませんが、有意義で楽しい旅でした。

**\*会報18号(2015年3月)から**

**14期 同期会開催 14期 立原 義郎**



平成26年の10月19日、3回目の14期同期会を船橋のレストランを借り切り、開催しました。

昭和38年卒の14期は、「団塊の世代」と呼ばれる昭和22～23年生まれです。

今回は会場の手配、出席者の勧誘に女性パワーが大活躍（出席者24名）。当日は栗生会長の挨拶でスタート。出席者全員の近況報告がありました。ビンゴゲームも楽しみましたが、景品は全て寄贈。遠くは、宮城在住の会員からも送られてきました。

なお、この会には伊藤喜之先生に毎回出席いただいています。先生の前では、みんな中学の頃に戻ります。

楽しいひと時の歓談後、みんなで3年後の再会を約束し、散会しました。